

# 令和5年度 箕面市行政視察報告書

## (総務常任委員会)

### 1 日程

令和5年12月11日(月)

### 2 視察先

#### (1) 大阪府豊能郡豊能町

視察項目	オンデマンドバスの有償実証実験について
視察目的	オンデマンドバスの実証実験中である豊能町での先進事例を学ぶことで、本市における「デマンド交通」施策の一助とするもの。

### 3 参加者

委員	川上加津子委員長、楠政則副委員長、内海辰郷委員、神田隆生委員、山根ひとみ委員、藤田貴支委員(別の公務にて欠席)
----	---

(1) 大阪府豊能郡豊能町

項目	内容	備考
<p>豊能町におけるAI デマンド交通の実証実験について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>運行に至った経緯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→生産年齢人口減少、公共交通利用者減少などの課題解決</li> </ul> </li> <li>・<b>オンデマンドバスのねらい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→生活圏の移動の充実</li> <li>→他の公共機関への接続性の向上</li> <li>→人流増加に伴う地域の活性化</li> </ul> </li> <li>・<b>運行までのスケジュール</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→令和3年7月 検討開始・長野県視察</li> <li>→令和4年6月 国・府交付金採択（府7月）</li> <li>→令和4年12月 近畿運輸局認可</li> <li>→令和5年2月 無償実証運行開始</li> <li>→令和5年8月 近畿運輸局認可（交通事業者）</li> <li>→令和5年10月 有償実証運行開始</li> </ul> </li> <li>・<b>協議会について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→豊能町・阪急バス・京都タクシーによる協議会</li> <li>→府の補助事業における交付資格</li> </ul> </li> <li>・<b>地域住民の要望や施策の反映について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→利用者アンケートの実施により反映</li> </ul> </li> <li>・<b>実証実験中と実験後の状況について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→住民の反応としては運行継続を希望する意見多数</li> </ul> </li> <li>・<b>予算概要について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>【1回目の無償実験】</li> <li style="padding-left: 40px;">デジタル田園都市国家構想推進交付金</li> <li style="padding-left: 40px;">大阪府モデル事業補助金</li> <li style="padding-left: 40px;">町・交通事業者負担金</li> <li>【2回目の有償実験】</li> <li style="padding-left: 40px;">共創モデルプロジェクト補助金</li> <li style="padding-left: 40px;">大阪府モデル事業補助金</li> <li style="padding-left: 40px;">町・交通事業者負担金</li> </ul> </li> <li>・<b>東部地域への対策について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→既存公共交通の状況を踏まえ、関係機関との協議・調整を行いながら改善を図っていく。</li> </ul> </li> <li>・<b>その他質疑について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>→利用促進に関する取り組み</li> <li>→住民説明会の状況</li> <li>→アプリの登録者数</li> <li>→交通事業者との連携など</li> </ul> </li> </ul>	<p>&lt;説明&gt;            豊能町            総務部理事            総務部総合政策課長</p>



## 所 感

- 交通事業者との共創の取組みや、デマンド交通だけにとどまらず、児童生徒との地域の活性化や、子育て世代の定住促進など、事業の取組み手法については、本市も学ぶべきところが多々あった。
- 予約のためのアプリケーションの登録や利用してもらうための周知については、事業を進める上での課題である。
- 数あるオンデマンド交通の手法の中で、どの手法を選択するかなどについては、地域性や利用する方の属性、何を目標に行うのかなどを明確にした中での適正な取捨選択が必要。
- 導入後の持続可能性の担保が重要。